



きよせ市議会だより



清瀬市児童センター（7月23日オープン）

平成十七年度一般会計予算 賛成多数で可決

平成 17 年
第 1 回定例会

平成十七年第一回定例会は、三月二日(水)から二十八日(月)までの二十七日間の会期で開催しました。

今定例会では、平成十七年度清瀬市一般会計予算及び国民健康保険事業、老人保健医療、下水道事業、駐車場事業、介護保険、受託水道事業の各特別会計予算等、市長提出議案二十七件、議員提出議案(条例(継続審査一件含む)・意見書)十件、市民の皆さんから提出された陳情四件を審議しました。

なお、平成十七年度清瀬市一般会計予算については、予算特別委員会を設置し、三月十日(木)・三月十一日(金)・三月十四日(月)の三日間で審査しました。また、その他の議案につきましても各常任委員会及び議会運営委員会等で審査し、本会議では議員提出議案(条例・意見書)六件、陳情二件を除き、それぞれ原案どおり可決、承認、同意及び採択しました。

平成十七年度予算のあらまし

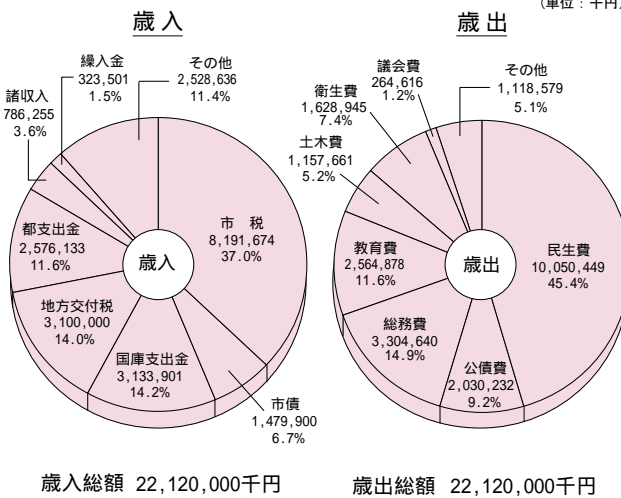
平成十七年度予算は、市内の人口の増加等により歳入の要である市税収入に多少の伸びが見込まれますが、国の三位一体改革に伴う影響などもあり、歳入面での大幅な増加は期待できない状況にあります。また、不足する財源を補ってきました各種基金も心もとない状況にあり、まだまだ厳しい状況にあります。

このような状況の中、子育て支援や健康施策の充実など市民の安全・安心の確保、また、商業振興対策や柳瀬川沿いの水と緑の空間整備など、個性を生かした特色あるまちづくりを推進していくための予算を計上しております。

平成十七年度一般会計の予算規模は、前年度と比較すると率で九五・五%減の二百二十一億二千万円となっておりますが、安全・安心まちづくりを推進する取り組みとして、秋津駅のエレベーター・エスカレーター設置や学校体育館の耐震化、子育て支援として、(仮称)清瀬市児童センターの開設や子ども家庭支援センターでの事業展開、教育環境の整備を進めるものとして、(仮称)清瀬市教育相談センターの開設や第四中学校校舎大規模改造事業(期西棟工事)、商業振興対策として空き店舗チャレンジ事業等支援、清瀬らしさを生かしたまちづくりの一環として、柳瀬川回廊構想の推進や緑地の整備、自然環境の保護等を目的とした自然保護レンジャー制度の創設等の予算化を図っております。また、特別会計では、国民健康保険事業特別会計及び老人保健医療特別会計の大幅な増等により、全体では前年度と比べて率で七・八%増の百七十四億六千二百二十万円となっております。

一般会計歳入歳出予算構成表

(単位：千円)



平成十七年度一般会計予算討論要旨

平成十七年度 日本共産党

反対討論 日本共産党
新年度予算では、子育て支援や震災対策などで充実してはいますが、補助金削減や就学援助の認定基準切下げ、市立幼稚園や保育園廃園がすめられました。政府の7兆円負担増で、市民の暮らしは大変です。高齢者や障害者への配慮を予算の基本に位置づけるべきです。
共産党は、五年度予算で財政調整基金の8%を取り崩して、乳幼児医療費助成充実や耐震診断・補強への支援、削減された施策の復活を求めましたが、市長は拒否し、現金給付型施策も否定しました。基金への積立も必要ですが、切実、緊急な要求には応えるべきです。市民への税の還元が予算の基本だからです。以上反対します。

賛成討論 民主クラブ

国と地方の税財政を見直す三位一体の改革の流れの中、市町村合併への道を選ばず、限られた財源をいかに効率的に運営するかの一ポイントに見えたこの予算編成に当たり、安全・安心なまちづくり、災害時の避難場所として小中学校の体育館の耐震化工事、子育て支援(仮称)児童センターの開設、秋津駅のエレベーター・エスカレーター設置、柳瀬川回廊の整備構想、農産物統一のキャラクター計画、商工会活性化への空き店舗チャレンジ事業、個人情報保護の委員会の設置のため等の予算計上がされ、住んでよかった。清瀬に住みたい。と言われる、まちづくりの視点を置いた平成十七年度予算に賛成いたします。

賛成討論 清瀬21の会

今、国及び地方の借入金金は、総額約七三〇兆円にも達し、この問題解決は緊急の課題であると同時に、地方財政へ大きな影響を含むものです。今回の予算は持続可能な街づくりを標榜し、職員定数削減計画の一年前倒し等改革を進めている。又、困難な財政環境の中、児童センターの開設等の子育て支援政策の充実が期待されます。

賛成討論 清瀬市民会議

消極的ではありますが、賛成します。PCB含有安定器の対応について、二〇〇一年に解決済みであった筈が、新たにPCB含有安定器が396個も見つかり、既に保管されている157個の保管方法の不備も指摘をしていますが、新年度予算において全面的な解決の見通しが立ちました。ただ、問題点を三点指摘します。子育て支援策における、けやき幼稚園と元町乳児保育園廃園の問題です。教育プランについてです。教育委員会は予算審議の場で、目的など明確な答弁が出来なかったことですが、予算審議に先立ち、市役所の組織改正について説明がなかったのは、問題です。